

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
小川原湖周辺地区

平成30年1月

青森県東北町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	小川原湖公園地区来客数	人/年	710,000	800,000	546,364	確定 ● 見込み	△	あり ● なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前に比べるとイベント回数は変わらず、観光客数は横ばいである。
指標2	花切川の釣り人口	人/年	4,300	5,500	2,930	確定 ● 見込み	×	あり ● なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	花切川でのイベントも定期的に行われており、釣り人口は横ばいである。
指標3	町道間手場幹線の交通量	台/12H	125	250	200	確定 ● 見込み	△	あり ● なし	401	H29年 7月	○	当該道路の認知度が上がったため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標を達成したが、今後も引き続き利用拡大に向け周知する。
指標4	駅自由通路の利用者満足度調査	%	44.5	51.5	未評価	確定 ● 見込み	×	あり ● なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	財源不足等により未整備であることから、今後様々な方法で広く意見を聴取し周辺整備に活かす。
指標5						確定 ● 見込み		あり ● なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 ● 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 ● 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 ● 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	小川原湖公園地区観光客	小川原湖公園への観光客数増加のため、案内看板を設置。	イベント会場である小川原湖公園へのアクセス道路の交通量が目標を達成した。	継続してイベント等を通じて小川原湖の魅力を発信し、アクセス道路の利便性を周知していく。
	小川原湖及び花切川的环境保全・再生	生活排水による小川原湖周辺の水質汚濁を防止するため、町内の合併処理浄化槽設置の普及、下水道整備を推進している。	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与した。	小川原湖周辺市町村と共に、小川原湖の水質改善に向け下水道整備等推進していく。
改善策	駅周辺の街路・自由通路及び広場等の整備による東西住民のアクセス向上	なし	なし	財源不足等により未整備であることから、今後様々な方法で広く意見を聴取し周辺整備に活かす。
・まちづくりの目標を達成するための改善策				
・残された課題・新たな課題への対応策				
・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
小川原湖の水質改善に向けた広報の発信	町のホームページやSNS等を活用し、小川原湖の水質改善に関する情報の発信に努めていく。	平成30年度～	小川原湖の水質に関する情報収集強化。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・宝湖と親しまれている小川原湖を一望できる小川原湖公園には、アクセス道路を利用する観光入込客数の増加が見込まれている。
- ・改修した「花切橋」は、毎年開催されている「東北町湖水まつり花火大会」会場へ足を運ぶ来場客の渋滞緩和に寄与しており、また周辺施設へ訪れるための所要時間短縮も期待されている。
- ・自然豊かな景観を眺めながら、サイクリングやジョギング等で多くの人に利用されている。

※フォローアップ調査結果を踏まえた定量的に表現できない定性的な効果発現状況

都市再生整備計画(精算報告)

お が わ ら こ し ゆ う へ ん ち く
小川原湖周辺地区

あ お も り と う ほ く ま ち
青森県 東北町

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	青森県	市町村名	とうほくまち 東北町	地区名	おがわらこしゅうへん 小川原湖周辺	面積	950 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

- 大目標 : 小川原湖を軸とした観光振興と交通環境改善による地域住民・観光客の賑わい拠点の創造
 目標1 : 交通条件の整備改善により、小川原湖への観光客誘導と共に、水産業の活性化により一層の地域振興を図る。
 目標2 : 鉄道により分断された中心地の交通条件を改善し、中心市街地のアクセス条件、歩行者の快適性の向上を図る。
 目標3 : 花切川の整備により住民の環境美化意識の醸成、観光振興と次世代に引き継ぐ自然環境の保全・再生を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当町の甲地集落より北部方面の住民にとっては、小川原湖での火花大会を初め各種イベント会場及び小川原湖公園(湖水浴場等)へのアクセス道路としては、県道水喰・上北停車場線より主要地方道八戸・野辺地線を通過し町道437号線を通るルートしか無く、小川原湖公園の利用がしにくい状況であるとともに、イベント時の混雑の原因にもなっている。また当町での小川原湖に点在する漁業基地(浜台・田ノ沢・舟ヶ沢地区)から小川原湖地区卸売市場までの魚介類の運搬も同様のルートを利用しているため運搬に不便をきたしている。
- ・小川原湖への別ルートである間手場幹線は、現在砂利道であり凸凹がかなりあり、快適に通行できる状態ではない。また、花切橋はW=3.2mしかなく(L=50m)老朽化に伴い大型自動車等の通行が制限(T-5)されており、迂回を余儀なくされ、東北町の重要な資源である水産物の活用の妨げになっている。
- ・小川原湖にそそぐ花切川沿いは桜の名所であるとともに、全国へらぶな釣り大会が開催されるなど地域住民の憩いの場となっている。しかし、近年上流部の土羽堤が浸食され、河床の堆積物の増加等により水質が悪化し、早急な改善が求められている。
- ・乙供駅及び上北町駅周辺では、町商工会、観光協会が中心となり、夏祭り、ドリンクラリー等、中心街の賑わいの創出のための取り組みが進められているが、中心市街地が鉄道で東西に分断されていることから、歩行者空間の改善が求められている。
- ・乙供駅・上北町駅の両駅は、駅舎出入口が西側にしかなく、駅東側住民の駅利用には、踏切を越え西側の駐車場・駐輪場を使用しなければならず不便を強いられている。
- ・花切川の右岸、左岸共に、W=3.0mの砂利道であり、歩行者と自動車が行き違うには危険である。また凸凹による水たまり等もあり、花見時期等の歩行者の散策に支障を生じている。

課題

- 社会態様の変化により、人口の自然増が期待できない今日において、観光を軸とした交流人口を増加させ地域経済を活性化し、中心市街地の活性化を図り地域の賑わいを創出することが緊急の課題である。
- ・駅周辺の街路・広場等の基盤条件が不十分であり、住民や観光客のアクセス性が十分でなく、地域の賑わい創出のネックとなっている。
 - ・小川原湖への別ルートである間手場幹線は、現在砂利道であり凸凹がかなりあり、快適に通行できる状態ではない。また、花切橋はW=3.2mしかなく大型自動車等の通行が制限されており、迂回を余儀なくされ東北町の重要な資源である水産物の活用の妨げになっている。
 - ・小川原湖への流入している花切川の水質悪化が進み、観光・漁業の軸となる小川原湖への影響が心配されている。
 - ・駅周辺の商店街は鉄道により東西に分断されており、東西の商店街を行き来するのは時間がかかり、東西住民の交流の妨げにもなっている。
- 将来ビジョン(中長期)

- ・当町のまちづくりの核である農業と水産業の振興に努め、全国ブランドとして誇りうる安全・安心な食料供給の基地の形成を進めるとともに、森林の保全・管理を促進する。また、市街地整備と連動した町民との協働による商店街の環境・景観整備や新規優良企業の立地促進、産業支援・研究開発機能の強化等により、商工業の振興に努める。さらに、多様な観光・交流資源の活用を図り、観光・交通機能の拡充に努めるほか、関係機関との連携のもと、雇用対策や後継者の定住促進施策を推進する。
- ・すべての町民が住み慣れた地域で支えあい助け合いながら健康で元気に暮らせるよう、充実した健康福祉環境や町民活動が活発な地域性、優れた温泉資源を生かし、健康寿命を伸ばす保健・医療環境づくりを総合的に進めていくとともに、町民との協働に基づく地域福祉体制づくりを進める。
- ・みどりの大地と小川原湖に代表される優れた自然環境・景観の保全をはじめ、あらゆる環境問題に対応した総合的な環境施策を町民と一体となって推進し、小川原湖を有する町として、環境先進のまちづくりを進める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
小川原湖公園地区来客数	人/年	桜祭り、湖水祭り等のイベント及び小川原湖公園への来客数	交通条件の整備改善により、小川原湖周辺へのアクセスルートを増やすことで、小川原湖公園への来客を増加させる。	710,000	H22	800,000	H27
花切川の釣り人口	人/年	花切川釣り客数	花切川の環境整備により、釣り客を増加させる。	4,300	H22	5,500	H27
町道間手場幹線の交通量	台/12H	町道間手場幹線の乗り入れ交通量	町道間手場幹線以北地域から小川原湖公園区域までの交通環境を改善することにより、町道間手場幹線の交通量を増加させる。	125	H22	250	H27
駅自由通路の利用者満足度調査	%	乙供駅、上北町駅東西自由通路の利用者アンケートによる満足度調査	乙供駅、上北町駅に自由通路を整備することによって、利便性の向上が図られたかどうか、自由通路利用者に対し満足度調査により評価を行う。	44.5	H22	51.5	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・小川原湖周辺への観光客誘導や町の地域資源(水産業)活用のため、交通機能を改善する。また、花切川の護岸整備により、小川原湖を含めた環境改善を実施し、地域振興の活性化を図る。 	道路(基幹事業:道路) 地域創造支援事業(提案:護岸整備)
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の賑わいを形成するため歩行者用の東西自由通路の整備を行う。 	高次都市施設(基幹事業:自由通路)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業完了後の継続的なまちづくり活動 ・小川原湖の水質保全については小川原湖・高瀬川流域水質環境ネットワークが調査・保全活動を実施しており、同活動ともに地域住民を更にまきこんだ「自ら行う地域の保全」意識醸成を進める。 ○関連する事業等 ・東北町「小川原湖環境再生」計画を策定し、汚水処理施設整備交付金を活用した公共水域の水質改善に取り組み、観光振興と自然環境の保全・再生を目指している。 ・地方債を活用し、旧東北地区と旧上北地区を連絡し、小川原湖の周遊道路ともなる町道蓼内・根前線等の整備を進めている。 	

